早期診断から、低侵襲治療までを

強み

「早期診断」、「低侵襲治療」をベースとした価値の提供

消化器内視鏡を核とした「早期診断」、外科製品を中心とした「低侵襲治療」という2つの技術を相互に発展させ、患者さんのQOL向上と世界的に増加傾向にある医療コストの抑制に貢献していきます。

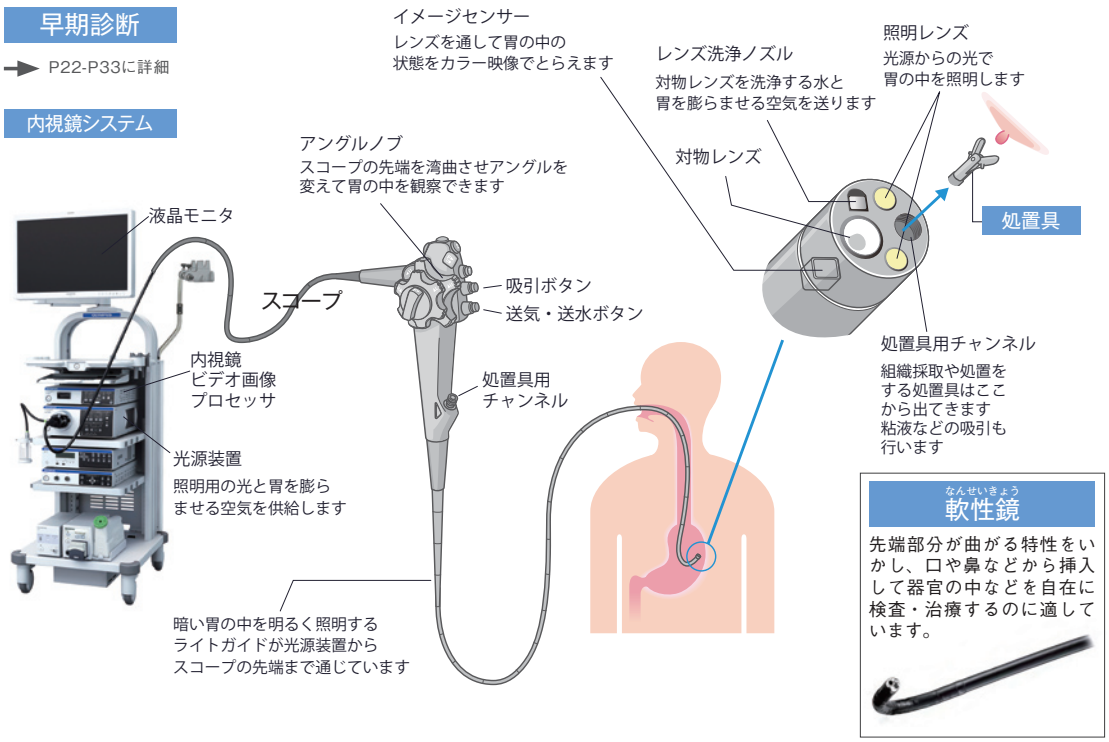
長年にわたる医師との信頼関係を活かした製品開発

1950年に世界初の実用的な胃カメラを開発してから現在に至るまで、医師との二人三脚で内視鏡技術の改良を進めてきました。例えば、内視鏡に求められる極めて繊細な操作性は、医師とともに細かい仕様を改良する長年の積み重ねによるものであり、当社製品の優位性の一つとなっています。

事業領域

消化器内視鏡・処置具

・世界シェア7割を超える消化器内視鏡は、「診断」と「治療」を行える医療機器
・「NBI（狭帯域光観察）」など、医師のニーズにあった製品開発力、最先端の技術力が強み



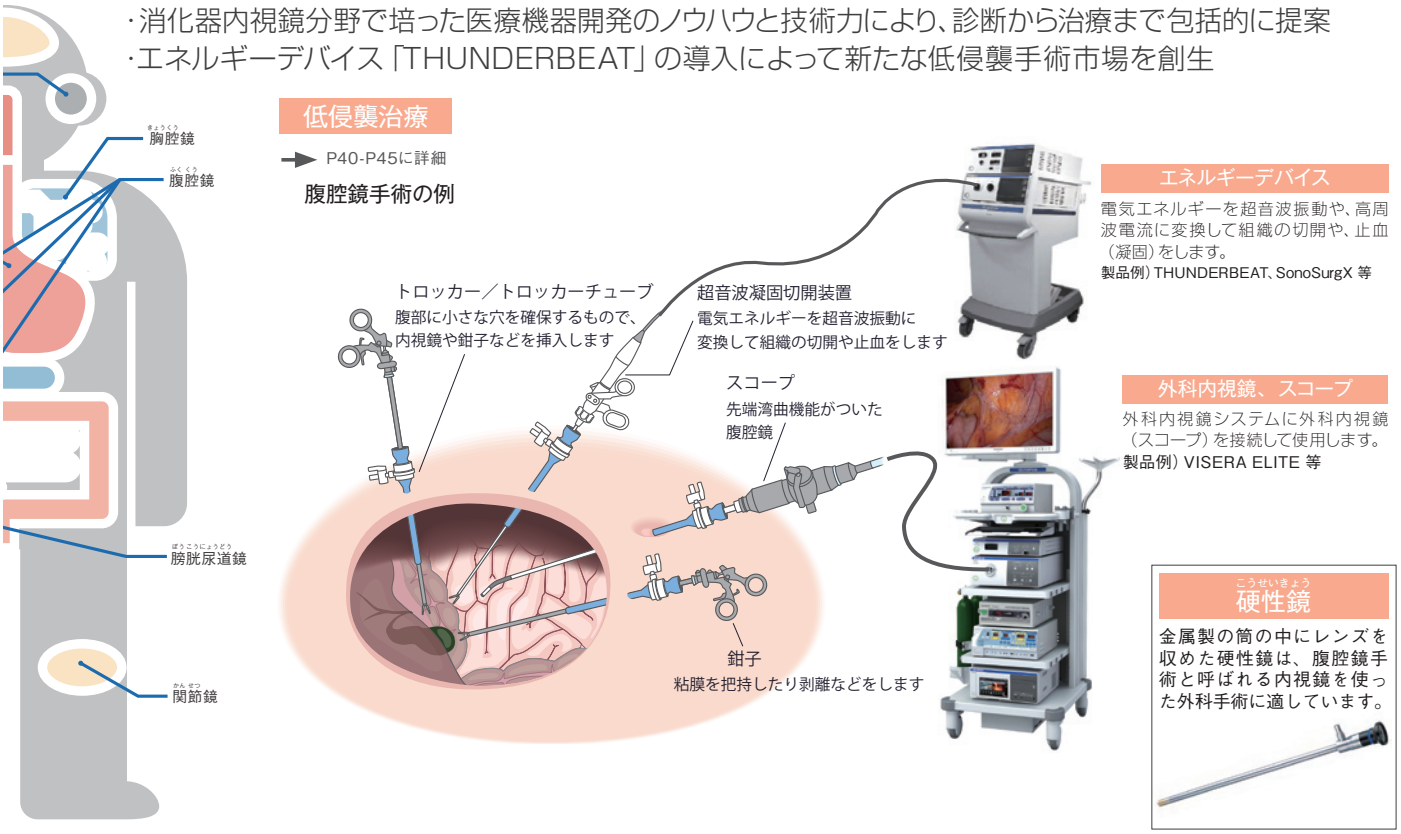
支える、オリンパス最大の事業

グローバルに広がる強固な事業基盤

世界最高の技術、製品、サービス、ソリューションを世界中に提供するため、オリンパスの医療事業のネットワークは世界中に広がっています。
・200 拠点以上に広がる業界トップのサービス体制
・先進国から新興国まで幅広くカバーする販売体制
・地域特性を活かしたグローバルな製造体制
・内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター

医師のニーズを具現化する最先端技術、ものづくり力

半世紀以上にわたる医療機器開発で培ったオリンパス独自の技術開発力と最先端の製造技術によって、日々高度化する世界中の医師のニーズに応え続けます。

外　科

・消化器内視鏡分野で培った医療機器開発のノウハウと技術力により、診断から治療まで包括的に提案
・エネルギーデバイス「THUNDERBEAT」の導入によって新たな低侵襲手術市場を創生